

男女共同参画情報紙

2019. 1. 15

19号



みらい

ひとひと
女と男 ともに輝く社会をめざして

特集

自分らしく仕事を創る!!



好き! 自信はないけど...

でもやってみたい!! ママの起業

好きなこと、得意なこと
仕事にしたい!

社会に役立つ
仕事がしたい!!

育児や介護と両立できる
仕事がしたい!!!



起業は、女性の働き方の選択
肢のひとつになってきました。

もうすでに、自分らしく、仕
事を創って、起業している女性
があなたの身近にいます。

どんな思いで、どんなきっか
けで、一步を踏み出したのか、
お話を聞いてきました。

香りでもっと幸せに

メディカル・アロマサロン
エナジーローズ 永福 令子さん

永福令子さんは、出版社に勤務していましたが、40歳半ばをむかえたころに、子ども向けの仕事か女性向けの仕事をしたいと思ったそうです。夫の受けた緩和治療で、アロマやヨガ、音楽療法などの代替療法が患者の身体や心の痛みを和らげることを実感し、以前より興味があったアロマについて勉強!!

2011年、羽生市南5丁目に、女性限定の美容アロマサロンを開店。

自分でチラシを作成し、自らポスティングを行い、お客さんを集めたそうです。

2014年には、羽生市商工会の力をかりて、空き店舗モデル事業を利用し、現在の武蔵野銀行の並びに店舗を移転。また、新たな事業を展開するため、経営革新計画のサポートを受け、男性も、女性も対象にした、メディカル・アロマサロンとしてリニューアルしたそうです。

今後は、「市内のカフェとのコラボや、企業とのワークショップなどとおして、アロマの良さや使い方を広めていきたい」と、イキイキとした笑顔で話してくれました。

最後に、「大切なのは自分を楽しむこと、そして自分磨き」、「自分のファンになってもらえるように、アロマアドバイザーとしての自分を高めていきたい」と語ってくれたのが、とても印象的でした。



【連絡先】
TEL 048-598-7861
<http://energy-rose.sakura.ne.jp/home/>



珈琲でつながる縁

自家焙煎屋はらだ珈琲 原田 玲子さん



【連絡先】
TEL 048-506-0778
<http://www.harada-coffee.com/>

原田玲子さんは、母親の介護がきっかけとなり、あらためて仕事について考えたそうです。

以前から、コーヒーは大好きでいろいろなお店のコーヒーを飲みに出かけていまし



た。コーヒー愛好家の縁で、春日部にあるコーヒー店の焙煎士との出会いがきっかけとなり、ロースター(焙煎士)の技術について勉強!!

2018年5月に、自宅をリフォームし、「自家焙煎屋はらだ珈琲」をオープン。

今後は、「お店をたくさんの人に知ってもらえるようPRに力を入れたい」「スイーツもだせるような喫茶店もつくってみたい」と、目をキラキラさせながら話してくれました。

2人の取材をとおして、
年齢に関係なく、新しいことに一歩ふみだし、
イキイキとしている姿に感動しました。



女性の活躍って???

女性が輝く社会であるために...今、働き方を見直す時代が始まっています!!

高度成長期には、夫はモーレツに働き、妻は、専業主婦として家事・育児・介護を含む家のことを一手に引き受ける家庭が多く存在していました。その中で、「男は仕事、女は家庭」という固定的な性的役割分担意識が根づいていたようです。

近年、時代は変わり、共働き世帯が一般化してきていますが、女性が働き、活躍するには、まだまだ課題が山積みになってます。

事業者は、労働環境の改善と育児・介護等の制度の整備を進めていくこと、また、ひとりひとりが「男は仕事、女は家事・育児」といった固定的性別役割分担意識の改善を進めていくことが大切です。

家事・育児の夫婦の分担を「見える化」してみましょう。
我が家にとって大切なものが見えるかもしれません。

夫婦が本音で話せる魔法のシート

〇〇家 作戦会議

「家事・育児の夫婦の分担を「見える化」してみましょう。我が家にとって大切なものが見えるかもしれません。」

「男は仕事、女は家庭」という固定的な性的役割分担意識が根づいていたようです。

近年、時代は変わり、共働き世帯が一般化してきていますが、女性が働き、活躍するには、まだまだ課題が山積みになってます。

事業者は、労働環境の改善と育児・介護等の制度の整備を進めていくこと、また、ひとりひとりが「男は仕事、女は家事・育児」といった固定的性別役割分担意識の改善を進めていくことが大切です。

このシートは、
内閣府男女共同参画局の
ホームページから入手できます。



仕事の仕方いろいろ!! 在宅ワーカーセミナー (入門コース)を開催しました

3市合同
(加須市、行田市、
羽生市)

平成30年7月13日(金) 市民プラザ加須



在宅ワークとは、パソコンやインターネットを使って主に自宅で仕事をする働き方です。

在宅ワークを知りたい方のために、在宅ワークの基礎知識や心構え等の講話や現役在宅ワーカーによるパネルディスカッションもありました。

また、希望者には、セミナー終了後、グループ相談会も実施しました。



女性相談を開設しています

日常生活の中で悩んでしまい、なかなか解決の方向が見えなくなってしまっていることはありませんか？

女性相談では、悩んでいる方の気持ちに寄り添い、一緒に解決方法を考えていきます。

今、自分が、どうしたいのか。

自分で出来ることは何なのか。

ひとりで悩まずに、一緒に考えていきませんか？

彼のこと…

彼が話を聞いてくれない。
彼の言うとおりにしないとキレル。

夫との関係…

夫が、家事や育児に協力してくれない。
夫から「役立たず」と言われてつらい。

親、親族のこと

母親との関係がぎくしゃくし、うまく会話ができない。

子どもの問題

子どもとうまくコミュニケーションがとれずに困っている。

自分自身について

ついネガティブな考え方をしてしまう。

女性相談 (予約制)

- 相談日
毎月1・2・4水曜日、
第3水曜日の属する週の土曜日
- 相談時間
午後1時～午後4時
(1回50分)
- 予約・問合せ
パープル羽生561-1681

案内図



編集後記

今回の取材で、女性の起業というものを、身近に感じることができました。起業するまで、様々な苦労や迷いがあったと思います。彼女たちの一歩を踏み出した勇気に、心から拍手を送ります。

発行 羽生市総務部人権推進課
企画・編集 羽生市男女共同参画情報紙編集委員
表紙題字 羽生市長 河田 晃明

